

# 安全データシート

作成 2022年 1月26日  
改訂 年 月 日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 国産亜リン酸カリ液 (亜リン酸カリウム液 生第 86129 号 液状肥料)  
会社名 : ラサ晃栄株式会社  
所在地 : 東京都千代田区内神田二丁目 6 番 8 号  
担当部門 : 東京営業課  
電話番号 : 03-3256-8211  
FAX 番号 : 03-3256-8815  
緊急連絡先 : 担当部門と同じ  
推奨用途 : 肥料

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類できない。

他の危険有害性情報

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

物理的及び化学的危険性 : 知見無し

人体に対する有害性 : 飲み込むと有害

環境に対する有害性 : リンを含有しているため、水域への排出は富栄養化の原因となる。

\* 上記に記載のない危険有害性は、現時点で「分類対象外」「分類できない」または「区分外」。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : 亜リン酸 2 水素カリウム・水の混合肥料

含有量 : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 換算 30%以上、K<sub>2</sub>O 換算 20%以上

【以下、主成分の亜リン酸カリウムに関する情報】

官報公示整理番号 : なし

CAS No. : 13977-65-6

労働安全衛生法 : なし

PRTR法 : 非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所へ移動させる。安静に保った後、必要に応じて医師の診断を受ける。呼吸が弱い場合及び呼吸が停止している場合は、衣類を緩め、呼吸気道を確認した上、人工呼吸を行う。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服、靴などを速やかに脱がせる。製品に触れた部分を水または、微温水を流しながら洗浄する。外観に変化が見られたり、痛みがある場合は、直ちに医療処理を受ける手配をする。

目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分以上洗眼したのち、痛みがある場合は直ちに眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 清浄な水で口を良く洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

---

## 5. 火災時の措置

- 特定の消火方法 : 不燃性。可能であれば製品を火災区域から移動させる。不可能な場合には、製品及び周囲に散水して冷却する。
- 消火剤 : 水、粉末、砂、二酸化炭素
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は、吸入、暴露を避けるため風上より行い、適切な空気呼吸器、化学用保護衣、ゴム長靴を着用する。
- 火災時の特定危険有害性 : 知見無し
- 

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具を着用する。風下の人を避難させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 濃厚な溶液が河川等に排出されないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合は、空容器に回収し、その後多量の水で洗い流す。  
多量の場合は、漏洩した製品を出来るだけ回収する。あとに残ったもの及びこぼれたものは、多量の水にて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。
- 

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

### 取り扱い

- 技術的対策 : 必要に応じて適切な保護具を着用し、丁寧に扱う。
- 局所排気・全体換気 : 局所排気または全体換気の設備のある場所で扱う。
- 安全取り扱い注意事項 : 使用前に使用説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
接触、吸入または飲み込まないこと。  
取り扱い後は、うがい手洗いを十分に行うこと。  
環境への放出を避けること。

### 保管

- 適切な保管条件 : 乾燥した冷暗所に保管し、雨水、日光が当たらないようにする。開封された容器は、再び完全に封をする。
- 

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 未設定
- 設備対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化、または全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 保護具 : 防塵マスク、ゴム手袋、保護眼鏡等
- 

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態・形状・色等 : 無色もしくは淡黄色の澄明液体
- pH : 約 4.0～4.5
- 比重 : 約 1.4
- 還元性 : あり
- 酸化性 : なし
- 引火点 : 不燃性
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 爆発範囲 : データなし

分解温度 : データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 化学的に安定。  
反応性 : 強熱により、リン酸化物が発生する可能性がある。  
強アルカリ性物質と混触すると、激しく反応する。  
混触危険物質 : 可燃性物質、強酸化剤、強アルカリ性物質
- 

## 11. 有害性情報

- 急性毒性（亜リン酸カリウム） : LD<sub>50</sub> 300mg/kg マウス経口  
LD<sub>50</sub> 3200mg/kg ウサギ経口  
LD<sub>50</sub> 980mg/kg ラット経口  
※製品としてのデータが無いため「分類できない」とした。
- 皮膚腐食性・刺激性 : 酸性物質のため、皮膚に付着すると、刺激が現れることがある。  
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 酸性物質のため、眼に入ると、刺激、炎症の恐れがある。  
呼吸器感受性または皮膚感受性 : データが無いため「分類できない」とした。  
生殖細胞変異原性 : データが無いため「分類できない」とした。  
発がん性 : データが無いため「分類できない」とした。  
特定標的臓器毒性（単回暴露） : データが無いため「分類できない」とした。  
特定標的臓器毒性（反復暴露） : データが無いため「分類できない」とした。  
吸引性呼吸器有害性 : データが無いため「分類できない」とした。
- 

## 12. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : 水生生物に有害。（亜リン酸カリウム）  
水生環境慢性有害性 : 長期的影響により水生生物に有害。（亜リン酸カリウム）  
残留性・分解性 : 知見無し。  
生体蓄積性 : 知見無し。
- 

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- 汚染容器及び包装 : 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。包装を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
- 

## 14. 輸送上の注意

- 国連分類及び国連番号 : 該当せず  
海洋汚染物質 : 該当せず  
特別の安全対策 : 包装が破損しないように、乱暴な扱いを避ける。運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。雨天時の際は、防水措置をとること。
-

---

## 15. 適用法令

肥料取締法	:	普通肥料（液状肥料）
水質汚濁防止法	:	生活環境項目（施行令第3条の1） ・水素イオン濃度 （排出基準）海域以外の公共用水域に排出されるもの（pH5.8～8.6） ・リンの含有量 （排出基準）16mg/L（日間平均 8mg/L）
労働安全衛生法	:	該当せず
大気汚染防止法	:	該当せず
消防法	:	該当せず
化学物質排出把握管理促進法	:	該当せず

---

## 16. その他の情報

引用文献等 : 15710 の化学商品（化学工業日報社）  
ポケット肥料要覧（財団法人農林統計協会）  
化学物質管理促進法対象物質全データ（化学工業日報社）  
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ（化学工業日報社）  
安衛法化学物質（化学工業日報社）  
GHS モデル SDS 情報（中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP）  
原材料 SDS

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。また、記載事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。